

学校評価の公表について (手段・時期・内容等)	・3月中旬から、ホームページに学校評価等を公表する。
----------------------------	----------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善策)
学校経営	①HPが以前より頻繁に更新されているので、引き続き学校の情報をリアルに発信して欲しい。また、緊急時のメール配信も活用を期待している。 ②生徒は良くあいさつをしてくれる。また、地域のボランティア活動に積極的に参加してくれるので、ありがたい。引き続き、生徒の心の教育をお願いする。 ③校長の学校経営方針のもと学校が健全に運営されている。今後も職員が共通理解をもって素晴らしい学校づくりをして欲しい。 ④不祥事は学校の信用を著しく損なうので根絶に努めて欲しい。 ⑤教職員の働き方改革は社会的関心が高く、改革を進め、教師の仕事が魅力あるものになるようにして欲しい。	①学校生活の様子が伝わるように工夫しながらHPの更新をして、学校の情報を発信していく。また、緊急時のメール配信システムを保護者の理解を得ながら着実に運用していく。 ②今後も基本的な生活習慣の確立と学習指導、生徒指導、キャリア教育等のバランスをとり、ボランティア活動の案内を学級担任を通じて行うなどしていく。 ③職員が明るく仕事ができるよう、職場環境を整え、風通しのよい学校づくりを一層推進する。 ④不祥事根絶の研修に粘り強く取り組んでいく。 ⑤教職員の意識改革を進め、行事の見直しや分掌の仕事の見直しに取り組む。
学習指導	①やらされてやる学習ではなく、生徒が自主的に学習するように指導していくと良い。 ②生徒による授業評価では、「生徒一人一人の個に応じた指導がなされている。」の項目で81.9%（前年度比+5.6ポイント）の肯定であった。改善しているものの、授業改善に積極的に取り組んで欲しいという意見をいただいた。 ③授業公開は東金高校の学習状況を知る上で良い機会となっている。参観者が増えると良い。 ④小テストのようなきめ細かい学習指導により生徒の学力向上に取り組んでもらいたい。 ⑤近年は、推薦・AO入試に頼る生徒も多くなっていると聞くと聞くと、実力テストを活用して進学指導に活用してもらいたい。	①課題の量や質を工夫し、自ら学習する習慣を身に付けさせる。 ②授業で生徒一人一人の理解度を分析し、それぞれにあった課題や指導ができるようにする。そして、生徒の学習意欲を高めるよう工夫・改善をしていく。 ③教員相互の授業公開や他校種の授業公開への参加をより積極的に実施するなど研修の充実を図る。 ④小テストは生徒の基礎学力定着に役立っており、生徒の取り組み姿勢も良い状態である。 ⑤大学入試改革の影響もあり、推薦・AO入試に頼る生徒が多くなっているが、実力テストの結果は有効に活用していく。
生徒指導	①基本的な生活習慣がよく身につけていて問題はない。 ②特に大きな問題となるいじめ等はないようだが、今後も個人面談やアンケートを行い、生徒の悩みなどを理解し、いじめのない学校にして欲しい。 ③スクールカウンセラーのような専門家が配置されているのは心強い。	①きめ細かな生徒指導を実施し、基本的な生活習慣の育成を図る。 ②引き続き個別の面談やアンケート等を行い、生徒の実態把握を行う。いじめは絶対に許さない体制をつくる。 ③スクールカウンセラーを含めた組織的な活動により、生徒の悩みを早期に解決していく。

<p>キャリア教育</p>	<p>①生徒の様々な進路希望に、細かな指導が行われている。生徒の職業観を育むキャリア教育に計画的・組織的に取り組んで欲しい。</p> <p>②進路説明会を各学年ごとに行うなど、その学年に必要な情報を伝える工夫をすることは良い。</p> <p>③大学と連携した授業は生徒にとって良い刺激となっているようだ。より高い意識を持って学習に取り組んでもらいたい。</p> <p>④ボランティア活動等地域との連携をよく図っている。今後も継続して欲しい。</p>	<p>①生徒一人一人の実態に合わせた指導を継続していく。また、今後も1年次から計画的にキャリア教育に取り組んでいく。</p> <p>②引き続き、進路説明会を充実させていく。また、生徒・保護者に必要な情報を伝えることができるように情報発信にも取り組んでいく。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びの実践的授業となっており大変有意義なので、今後も継続していく。</p> <p>④今後も地域の要望に対して、できる限り貢献していく。</p>
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①国際教養科の語学研修は、手厚い指導の結果、成果を上げている。</p> <p>②グローバル社会における国際理解を推進している。更に進めて欲しい。また、若い時にニュージーランド等の現地の人と触れ合うのは大変良い経験になる。</p>	<p>①語学研修は、大学の協力を仰ぎながら継続していく。</p> <p>②学校全体で行事を工夫し、グローバル社会における国際理解を推進していく。更に、引き続き、ニュージーランド研修、オーストラリア姉妹校交流に取り組んでいく。</p>